

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるシャトネラ マリナが最大0.13細胞/ml、カレニア ミキモトイが最大0.04細胞/ml、カレニア パピリオナセアが最大0.17細胞/ml、ヘテロシグマ アカシオが最大0.03細胞/ml確認されました。現在の細胞数は非常に少ないですが、細胞数の急激な増加も考えられるため、今後の海色や飼育魚の状態を注視し、飼育魚にストレスがかからないよう十分注意してください。

またプロロセントラム属が最大0.28細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※（本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。）

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	シャトネラ	カレニア	カレニア	ヘテロシグマ	プロロセントラム属
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	マリナ	ミキモトイ	パピリオナセア	アカシオ	
片島（別図⑦） 採水時間 9:14 透明度 - m	-	-	-	-	0.13	0	0.04	0.02	0.03
藻津①（別図⑨） 採水時間 9:29 透明度 - m	-	-	-	-	0.01	0	0	0.03	0
大島中央①（別図⑤） 採水時間 9:40 透明度 - m	-	-	-	-	0	0	0.05	0	0.03
青瀬山（別図③） 採水時間 9:54 透明度 - m	-	-	-	-	0	0.04	0	0.02	0.28
弘浦②（別図①） 採水時間 10:08 透明度 - m	-	-	-	-	0.09	0	0.17	0	0.07
田ノ浦（別図⑧） 採水時間 10:23 透明度 - m	-	-	-	-	0.13	0.01	0.01	0	0.03